

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	Shock & Awe ショックアンドウオー	投球者	矢野金太	センター	新杉田ボウル
RG	2.533	ΔRG	0.048	●ピン ★PAP ✕CG ●バランスホール	

テスト対象ボール フレアーの幅: 4 inch

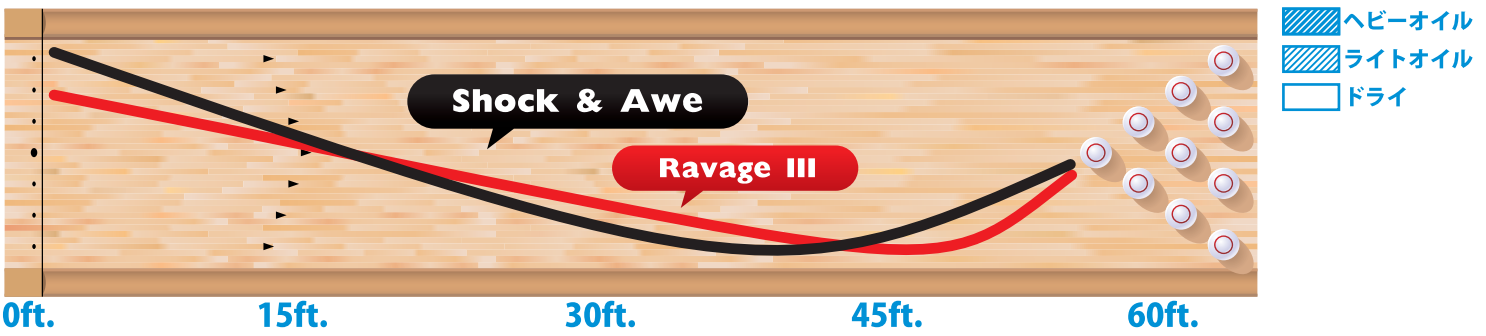
PAP-ピンの距離 4 inch

表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤

比較用ボール ラベージ III

PAP-ピンの距離 4 inch

表面加工
箱出し状態 加工
ペーパー 番 ポリッシュ
 研磨剤



ローリングタイプ (ローラー) 回転数 (回転)

レーンコンディション: 早い ● 遅い

手前のコンディション: オイル厚い ● オイル薄い

奥のコンディション: キャリーダウン ● かなり切れている

オイル長さ

メンテナンスマシン
サンクション ツインスター シャトル 手引き
その他

ボールの評価

スキッド長さ	長い ● 短い	若干、手前からキャッチする感じはありますが、良く転がりスキッドも出ます。
手前の転がり	よく転がる ● 空スベリ	
バックエンドリアクション	SHARP ● ARC	ラベージ III と比べ、シャープさはないが、安定した ARC な曲がりがあります。
曲がり幅	大きい ● 小さい	
ピンアクション	良い ● 悪い	非常にやわらかい当たりで、10本のピンをからませる感じ。
安定度	良い ● 悪い	
キャリーダウン	強い ● 弱い	スピニングタイムが早いせいか、キャリーダウン、オイルキャッチが共によい。
オイルキャッチ	強い ● 弱い	

特記事項 (合うレーンや球質、セールスポイントなど)

●パールリアクティブということでスキッドがかなり出るかと思ったのですが、表面仕上げがスムーズ仕上げとスピニングタイムが早いいため、スキッドはコンディションによって、短く感じるかもしれないが、反応が良く、多く板目を使って投球しても安心できる。オイルーミディアムに最適です！